

編 集 後 記

6月になり、梅雨空が目立つ時期となりました。今回は、総説その他として3つの寄稿をいただきました。本年4月から始まった特定健診を契機として、予防医学への機運が高まりつつあります。今月の総説はそれに沿ったお話でしたので、大変意義深い寄稿でした。医療費抑制のためには予防医学の発展が肝要ですが、特定健診の健診項目削減、後期高齢者の健診対象者削減は時代に逆行している恐れがあるものと懸念いたします。臨床研究にも多数の寄稿をいただきました。新研修医制度によって大学医局制度が崩壊し、我が県でも深刻な医師不足に悩まされていますが、その中にあっても最先端の医療をするべく、島根の医師の皆さんが頑張っていられしやるのがこの寄稿からもうかがい知れます。これからも医療業界は地方に厳しい状況が続くものと思われませんが、我々の手で、地方の医療の充実に向けて頑張っていきましょう。この島根医学がその一助となれば幸いです。

(K.I)

島根医学編集委員

沖田 瑛一， 西野 泰生， 錦 織 優， 伊藤 是衛， 葛尾 信弘，
 岩本 正敬， 児玉 和夫， 益田 順一， 信太 秀夫， 佐藤 比登美，
 中川 正久， 小林 祥泰， 徳島 武

島 根 医 学

平成20年6月30日発行

発行者 島 根 県 医 師 会

浜田市蛭子町

編 集

編集者 沖 田 瑛 一

発行所

松江市学園南2丁目3番11号
 有限会社 松 陽 印 刷 所